

平成 29 年 9 月 19 日

キャリアコンサルティング技能検定 2 級 学科・実技（論述・面接）試験 体験記

※ご記入可能な項目だけ記載してください。

2 級受検番号 NO 03S3110408 氏 名（イニシャル S/K）

■ 1 試験に向けた準備の状況

	学科	実技（論述・面接）
いつ頃から始めたか	第 16 回（6 月）学科受験に焦点を当て開始。 2016 年 3 月～2016 年 7 月	2016 年 10 月～
どのような内容を、どの程度行なったか	e-learning をひたすら満点になるまで、繰り返し続ける。 出来ない箇所を青本・赤本で補う。 厚生労働省の Web ページや労働政策研究・研修機構の情報を確認する。	実技は第 17 回試験から参加。 当初は以前の社内合格者の講義に参加したが、論述・面接ともに、基本的な内容のみだったため、実際の試験で通用しない箇所があり、明らかに不足を感じた。 結果：論述の点数足りずに終わった。 第 18 回試験のために、1 級技能士の会の試験対策講座へ参加。 ロープレを通して、足りない部分を自分で気づくことに注力されていることから、自分と他の受験者仲間のロープレも客観的に受け取れるようになりました。 論述は同じ問題を日にちをかえて、何度も手書きで行う。 ロープレは受験者仲間と 2 週間を通じて練習を開催。参加者からコメントをもらうなどした。
準備に対する振り返り	e-learning が満点になるまで行ったので学科に対しては、準備が出来ていると思われる。 青本から必要と思われるところをノートへの書き写し、知識を吸い上げるなど、繰り返したため、苦手分野の克服が出来た。	CL に対して何をもちて正しいかよりも、理論の実践を行うことから、CL としては何を得られるのかについて、集中した。 苦手な論述と面談・口頭試問では限られた中で説明が出来るように、青本内容を自分の言葉でおきかえられるよう出来たと思われる。 面談（ロープレ）では、覚えて得られるのではなく、考えて実践するこそ得られるテクニックを講座の中で学ぶことができたので、当日、どのような内容がきても動揺しないで挑めた。
*これから受検する人へのアドバイス	e-learning で自分が苦手なところがわかるので、暗記が苦手な方は青本と併用しながら何度も繰り返すとじわじわと覚えることができると思います。	練習ロープレの前後で、自分がそこから何を学べたかをひとつでも気がついて改善策を立てられるとよいと思います。 試験でも CL 役の方がリアルにキャリア相談にいらして下さっていることだけを意識して、支援策を

		<p>探索していくことが望ましいかと思われます。 ただ、試験なので口頭試問という現実に戻されますが、その一瞬にロープレを見直すことができ、切り替えをはかれると良いのではないかと思います。</p>
--	--	--

■ 2 論述試験への取組みです

*各問いの解答を作成する際に、意識したことを教えてください。
見ず知らずの第三者に状況を書面だけで、正確に伝えられるような表現が出来るよう心がけました。

論述試験対策のポイントを教えてください。

- 手書きで書く練習はもちろんですが、知らない誰かに読んでいただけるような「文字」「改行」などにも気をつけました。
- 書き方＝豊かな表現力を表すのではなく、また、自分の言葉で語るというよりは、誰が読んで同じように状況が伝わるように何度も練習しました。

.....

■ 3 試験当日の状況（試験場での様子を思い出しながら、記述または選択して○をつけてください）

試験日： 7月 23日 午後4時開始
試験希望日をこの日に設定した理由は何ですか。⇒ 長く勉強をしたかったので

事例番号： 4

■ 4 *試験の状況：ロールプレイの流れや特徴（基本的態度・関係構築・問題把握・具体的展開）について記述してください。ほかに試験中に意識したこと、相談者の対応などを自由に。

基本的態度：

導入から、ガチガチになった女性でいらしたので、「私はあなたのためになりたくてここにいるんだ」という思いを込め、ビジネスライクにならない雰囲気意識してゆっくりと始めました。

椅子の位置は彼女の目線（女性なので、どうしても体が曲線になるため）に合わせて話しやすい角度をこちらで変えました。

時計の場所は変えませんでした。手を添えながら守秘義務の説明をあわせて行いました。こちらの説明が一通り完了後、穏やかにはじめると、ゆっくりとした口調でCL役の方がお話し始めてくださいました。

関係構築：

ガチガチになっていたもので、なかなか話が始まらないかと思われましたが、ゆっくりと今おかれている状況からお話になられました。順序だてられていたので時々で気持ちを確かめていただきました中で、こちらゆっくりとCC視点でお話しするのを立てていきました。時間はたわいない会話に時間をかけたかとおもいます。

問題把握

ご相談事項は話の流れで確認させていただきましたところ、『はい。そのように・・・』というのを弱弱しく言われました。

今回の目標として、捉えることにし、同意されたので、ここはあまり時間をかけることなく次に進めました。

具体的展開

ご自身が気づいたことを実行するにはかなり勇気が必要だったようなので、ここも励まし続ける会話が続きました。

しかし、最終的に行動に移すということが決心できたようでした。

タイムアップとなってしまったので、雰囲気としてですが。

※ 当会のホームページに掲載させていただきます。

※ 掲載スペースによっていただいた原稿を一部割愛、要約することをご許可ください。

ありがとうございました。